

登録コード	TSL02500	開講年度	2026				
授業科目	地盤防災演習				担当教員	梅崎 健夫	
英文授業名	Seminar in Geotechnical Engineering				副担当		
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】			
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力			・英語の文献を読み、粘土の物理的性質および力学的性質を理解し、他者に説明できるようになる。 ・論文の独創性、新規性、論理性および問題点などを吟味し、研究の計画、手法、取りまとめについて修得する。			
(2)授業の概要	粘土の物理的性質および力学的性質に関する英語の文献を読み、その内容について検討する。翻訳するだけでなく、論文の内容を理解し紹介するゼミナールを行う。 論文の選定は各自の研究テーマに関連するものを原則とし、論文の内容を検討するなかで、独創性、新規性、論理性および問題点などを吟味し、修士論文の位置づけや進捗状況を検討する。						
(3)授業計画	1 論文 1 ～ 2 回で完了することとし、2 0 編程度の論文を読破する。 <論文の主な対象範囲> (1)粘土の構造と基本的性質 (2)圧密およびクリープ特性 (3)非排水せん断強度および残留強度 (4)進行性破壊と地すべり (5)繰返しせん断強度 (6)不飽和粘土の力学的性質 <主として対象とする雑誌> (1)Proceedings of the ASCE, Geomechanics Division (2)Geotechnique (3)Soils & Foundations (4)Canadian Geotechnical Journals (5)Norges Geotekniske Institutt Publication						
(4)成績評価の方法	既往の研究に関するゼミナールの発表（30%）とその内容を踏まえた修士論文の位置づけや進捗状況のまとめ（70%）について単位を認定する。						
(5)成績評価の基準	(i) 文献の選定が適切であり、(ii) その文献の内容を説明できており、(iii) その文献にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の知見が提示する解決法を適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v) の 5 項目を満たしていれば「かなり上にある」。4 項目までできていれば「やや上にある」。3 項目までできていれば「合格水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	事前学習として、研究テーマに関連する学術論文を検索し、選択する。その論文の内容を的確に理解し、他人にわかりやすく説明するために、レジメを作成する。 事後学習として、ゼミナールで出た質問や意見などを取りまとめて、有益な知見や課題を整理する。						
(7)履修上の注意	〔土の力学〕, 〔地盤の力学〕, 〔地盤工学〕および「地盤防災工学」を習得もしくはそれに相当する学力を有していることが望ましい。						
(8)質問,相談への対応	質問や相談には、土木棟 3 階の教員室（内線 5 2 9 1）で随時対応する。 また、E メールアドレス（omezaki@shinshu-u.ac.jp）でも受け付ける。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						